

「ノン・プロジェクト無償資金協力（洪水被害対策）」機材引渡式

8月28日（水）、カンダール州の重機材センターにおいて、公共事業運輸省主催の「ノン・プロジェクト無償資金協力（洪水被害対策）」の機材引渡式が行われました。

ノン・プロジェクト無償とは、貧困削減などの経済社会改革を実施している開発途上国を支援するため、国外からの資機材などの購入のための資金を供与する無償資金協力です。支援決定時に特定のプロジェクトが想定されていないため、ノン・プロジェクト無償と呼ばれています。

本件は、カンボジアが洪水被害からの復旧と今後の防災に向けた取組を推し進める上で必要となる建設用資機材を購入するための資金を供与するものです。2011年の洪水により、多くの道路において長時間の冠水により舗装・路盤が損傷しており、カンボジア政府は復旧・復興に向けて改修に取り組んでいますが、作業に用いられる建設機材の不足・老朽化が支障となっています。本件協力は、当地の洪水被害からの早期復興に向けた努力を支援するものです。今回引き渡される機材は、車両（ダンプトラック、散水車等）29台、建機（ブルドーザー、エクスカベータ、ローラー等）23台、その他（高圧コンプレッサー、発電機）3台の合計55台です。残りの機材も今後、順次納品される予定です。

同式典には、トラム・イム・テック公共事業運輸大臣をはじめ、約150名が参加しました。初めにトイ・チャンコサル長官より事業概要の説明及び、「本事業が緊急性に応えるべく大変スムーズに進捗している。」との言葉がありました。次に隈丸大使より、「これらの機材が、公共事業運輸省による復旧活動を促進し、地域住民の生活が活性化することを願う。」と述べました。最後にトラム・イム・テック公共事業運輸大臣から、「これまでの日本政府からの支援に感謝する。カンボジアの経済成長及び社会発展を加速するために必要な道路や橋の復旧に重要な役割を果たす。」とお礼の言葉が述べられました。その後、隈丸大使よりトラム・イム・テック公共事業運輸大臣に対し、重機の鍵が引き渡され、和やかな雰囲気のもとに式典が終了しました。

カンボジアは現在雨期であり、これら機材の活躍が期待される場所、速やかに機材の操作指導を行い、順次現場に配置される予定です。



隈丸大使のスピーチ



式典の様子



鍵の引き渡し



引き渡し機材の前で



引き渡された機材①



引き渡された機材②